エージェントウェークアップの手順

免責事項

本書に関する著作権は、SB C&S株式会社に独占的に帰属します。 本書に記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。

SB C&S株式会社は、本書に誤りが無いことの保証は致し兼ねます。 本書の一部または全部を複製することは禁じられており、提供または製造を目的として 使用することはできません。

ただし、SB C&S株式会社との契約または同意文書で定められている場合に限り、この注記の添付を条件として複製することができます。

SB C&S株式会社から事前に書面による合意を得ない限り、本書またはその一部から直接的または間接的に知り得た内容または主題に関して、個々の企業やその従業員などの第三者に対し、口頭、文書、またはその他のいかなる手段によっても伝達することはできません。

Copyright 2019 SB C&S Corp. All rights Reserved.

「McAfee」は McAfee, LLC の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の目的

・ePOからクライアントに対し、 即時通信(エージェントウェークアップ)の実施を要求します。

- ※このような場合に有用となります。
 - ・クライアントタスクを即時実行したい場合
 - ・ポリシーの変更を即時クライアントへ反映させる場合

手順の流れ

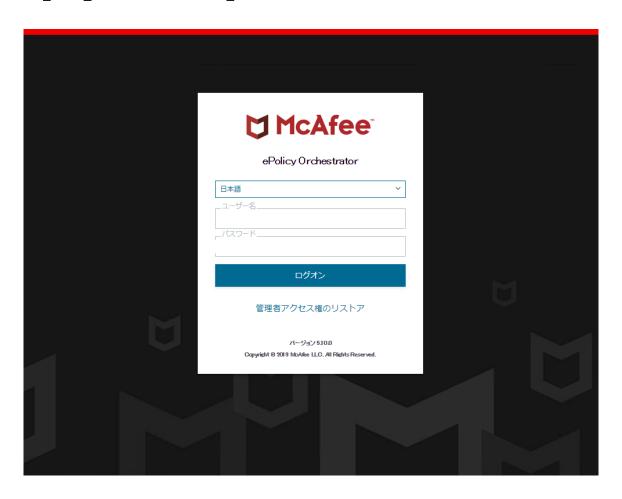
- ・ePOにログインします。
- 対象のクライアントを選択します。
- エージェントウェークアップを実行。
- ※例としてENSに所属しているWIN7に対し、 エージェントウェークアップを実行します。 (お客様環境に合わせ、適宜読み替えてください)

グループ名:ENS

システム名:WIN7

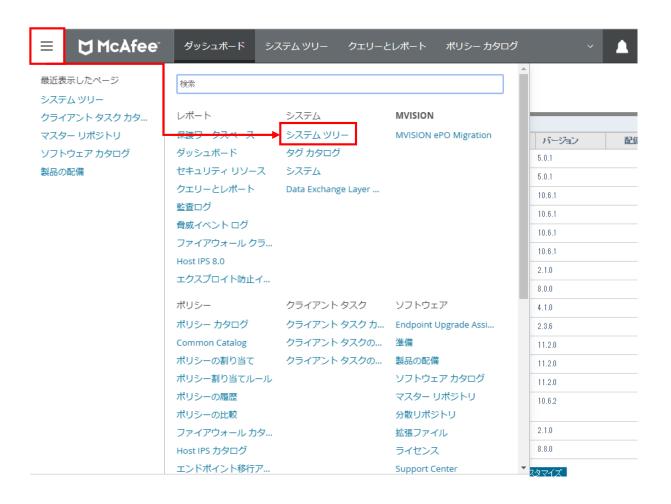
1. ePOにログイン

[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、ログインします。



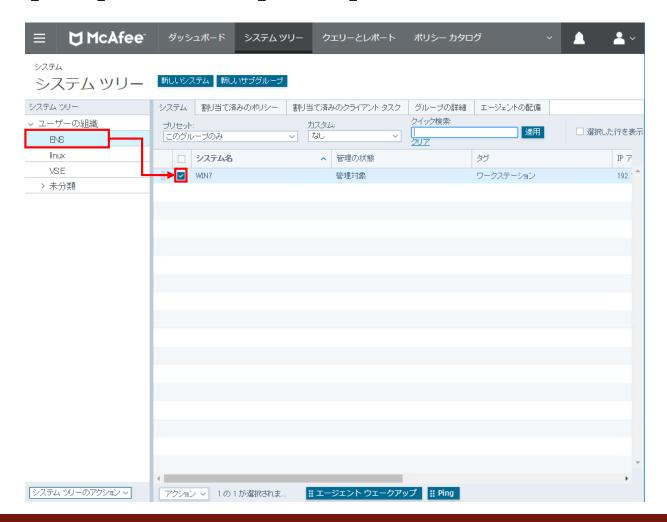
対象のクライアントを選択①

[メニュー] - [システムツリー]をクリックします。



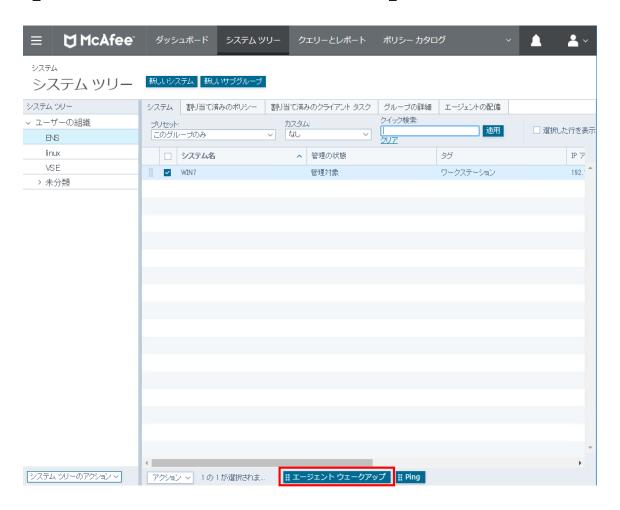
対象のクライアントを選択②

グループ[ENS] - システム [WIN7] を選択します。



エージェントウェークアップの実行①

画面下部の[エージェントウェークアップ]をクリックします。



エージェントウェークアップの実行②

[OK]をクリックする事で、通信要求が発信されます。

≡ ⊠ McAfee	ダッシュボード	システム ツリー	クエリーとレポート	ポリシー カタログ	~	A 2	• ~
システム システム ツリー							
McAfee Agent のウェークアップ							
[OK] をクリックして、ターグット システムにウェークアップ コールを送信します。 ウェークアップ コールのステータスを確認するには、 サーバー タスクログに移動します。							
ターゲット システム:	WIN7						
ウェークアップ コールのタイプ:	● エージェント ウェークアップ コール ○ Super Agent ウェークアップ コール						
ランダムな間隔:	0 分						
オプション:	☑ 前回の収集の後で変更されていない場合でも、すべてのプロパティを取得します。選択を解除すると、変更されたプロパティのみを取得します。						
強制的に更新するポリシー:	□ ポリシーとタスクの完全な更新を強制的に実行						
試行回数:	1 G連続して話行する場合には 0 を入力します)						
再試行間隔:	30 10 ~						
次の後にキャンセル:	5 分 ∨						